

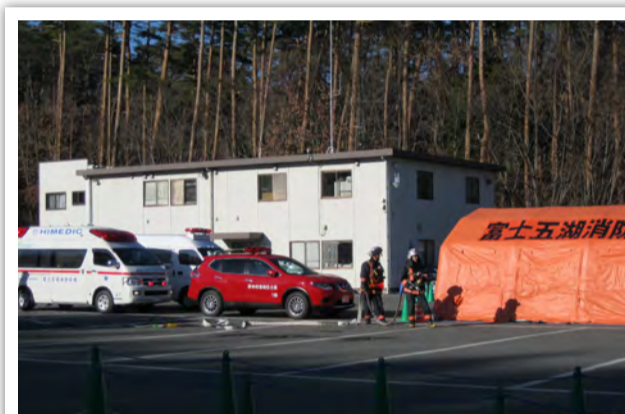
2020年 テロ対策の訓練を実施

令和二年 1 月 20 日、東京オリンピックを控え、外国人も多数観光に訪れる富士五湖周辺である富士吉田市で、テロ対策の訓練が実施されました。



富士北嶺地域を訪れる外国人観光客の増加や、半年後に開催される東京五輪・パラリンピックへの対策として実施。路線バスを狙ったテロを想定した訓練で、県警を中心とした関係機関が有事の際の連携や対応を確認しました。

富士河口湖町小立の国道 139 号を走行していた路線バス内で爆発が起き、別の路線バスにも爆破予告が出されたという想定での訓練が行われました。



富士吉田署や富士五湖消防本部、山梨赤十字病院など 19 団体から 135 名が参加



爆発が起きた路線バスから避難した乗客役に、富士吉田署の通訳官が英語と中国語で話し掛け、爆発時の状況や怪我の程度を確認。消防署員らが治療の優先順位を付けるトリアージを行い病院に搬送するまでの手順を確認しました。



災害派遣医療チーム



応急救護所での治療訓練



別の路線バスへの爆破予告が営業所に出され、富士急バス社員が警察に通報。駆けつけた県警機動隊がバス車内で爆発物が入っているとみられるバッグを発見し、特殊車両を使ってトラックに積み込みました。

有事の際での手順や対応への重要性を再認識した有意義な訓練でありました。今後も様々な事件、事故を想定し、取り組んでまいります。